

							授業コード*	1004		
授業科目	機能看護学概論 Management in Nursing Introduction		責任教員 橋本 麻由里 米増 直美	単位数	1	科目区分	必修	科目履修	可	
	時間数	30		開講セメスター	1					
目的と目標	<p>機能看護学では、人として、看護専門職として生涯にわたり自己の能力を開発・発展させ、看護の発展および、その社会化に貢献できる能力を身につけることを目的とする。機能看護学の主な構成要素は、マネジメント、人材育成、情報管理である。</p> <p>目的：保健・医療・福祉機関の活動の法的根拠と理念を基に、看護職の役割について学修する。また、ヒューマンケアを実施するための人間関係の構築方法や、自分自身のあり方となるセルフマネジメントについて学修する。</p> <p>目標：マネジメント能力の出発点として、学生が文献や体験から、見聞きし、読み、感じ、考えたことを自分の言葉や文章で表現することから学ぶ。その学びにおいて、自ら問いをもち、セルフマネジメントとは何か、ヒューマンケアとはどうあるべきかを探索し、自分の考えをもつ。</p>									
回数	学修課題	内容並びに方法							担当教員	
1	I 導入・機能看護学の理解	<p>チームティーチングにより学生の学びをサポートします。</p> <p>学生の授業への主体的参加により学習を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本科目の目的・目標および進め方について説明する。 ・機能看護学の学習の全体像を理解する。 (講義) 							橋本	
2	ヒューマンケアと看護学について	<ul style="list-style-type: none"> ・大学で学問として、看護学を学ぶ意義を理解する。 ・自己洞察を通して自己を知り、教養を学ぶ意義を理解する。 ・グループワークにより他者と共に学ぶ意義を理解する。 <p>(講義・グループワーク①)</p>							米増 安田	
3	II セルフマネジメントの意義と目的①	<ul style="list-style-type: none"> ・セルフマネジメントのキーワードとなる「自律」「自立」「意思決定」「責任」「人間観」「世界観」を手掛かりにセルフマネジメントとは何かについて考える。 <p>事前課題：キーワードについて調べる (講義・グループワーク②)</p>							古澤・長屋 安田	
4	セルフマネジメントの意義と目的②	<ul style="list-style-type: none"> ・人との関係性から、(看護)学生としてのセルフマネジメントの意義と目的をキーワードを活用して考える。 <p>(グループワーク③)</p>								
5	III ヒューマンケアとセルフマネジメント 1. 看護における組織・活動の場の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・保健・医療・福祉・介護サービスにおける法的根拠、看護職の役割について理解する。 <p>(講義)</p>							米増・太田	
6	2. ヒューマンケアと看護職の役割①	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒューマンケアと看護職の役割について考える。 ・学外演習の課題を確認する。 <p>(グループワーク④)</p>							橋本・太田	
7	ヒューマンケアと看護職の役割②	<ul style="list-style-type: none"> ・学外演習：各概論での課題に沿って演習を行う。 							機能看護学 教員	
8	ヒューマンケアと看護職の役割③	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒューマンケアとセルフマネジメントについて、学外演習での学びを深める。 <p>(学外演習の振り返り・グループワーク⑤)</p>							橋本・太田	
9	IV 看護専門職としてのセルフマネジメントのあり方①	<ul style="list-style-type: none"> ・キーワードを活用し、ヒューマンケアの実践に必要な看護専門職としてのセルフマネジメントについて理解を深める。 <p>(グループワーク⑥)</p>							橋本・太田	
10	看護専門職としてのセルフマネジメントのあり方②	<ul style="list-style-type: none"> ・学外演習：各概論での課題に沿って演習を行う。 							機能看護学 教員	
11	看護専門職としてのセルフマネジメントのあり方③	<ul style="list-style-type: none"> ・看護サービスにおけるセルフマネジメントについて、学外演習での学びを深める。 <p>(学外演習の振り返り・グループワーク⑦)</p>							橋本・太田	
12	看護専門職としてのセルフマネジメントのあり方④	<ul style="list-style-type: none"> ・人としての成長と看護専門職としてのセルフマネジメントについて理解を深める。 <p>(発表)</p>							橋本・太田	
13	V 看護活動の優先順位とセルフマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・看護活動における優先順位とセルフマネジメントのあり方について理解する。 <p>(講義)</p>							橋本・太田	
14	VI 学習の統合	<p>【課題レポート】以下の2項目についてまとめる。</p> <p>①看護学生としてのセルフマネジメントのあり方 ②ヒューマンケアにおける人間関係の構築と必要な配慮</p>							橋本・米増	
15	VII 総括	<p>これまでの学修を総括し、討議により学びを深める。</p> <p>(全体討議)</p>							橋本・米増	
評価方法	<p>授業への参加・貢献(グループワークなどへの参加状況)30%、授業終了時のミニレポート30%、課題レポート40%の配分で評価する。</p>									
参考文献と資料	<p>看護法令要覧(日本看護協会出版会) 他、必要時授業にて提示</p>									
事前準備 受講要件	<p>学習内容に示したことは事前学習を要する。</p>									